

フューチャー・フェロエレクトリックス

～第1回・誘電体若手秋の学校～

昨今、マルチフェロイックや光誘起相転移等、誘電体に関連した諸物性に対して極めて大きな注目が集まっています。また、これまで誘電体研究における中心的な研究トピックスとして長く研究されてきた揺らぎと構造相転移の諸問題においても、光・中性子・放射光等を用いたスペクトロスコピーやTEMやSPM等によるアトミックスケールのマイクロコピーの発達により、目覚ましい発展が見られます。更には、薄膜化や人工超格子等による物性制御や、誘電体における電荷輸送現象等の興味深い報告も相次いでおり、現在、誘電体研究はさらなる活発化に向けたターニングポイントを迎えているのではないのでしょうか。

このような状況を鑑みて、このたび、様々な分野で誘電体に関連した先駆的な研究を推進されている諸先生方を講師としてお招きし、宿泊研修形式による時間的制約にとらわれない自由な研究討論の場を設けたいと思います。また、固体物性、光物性、材料科学を中心とした様々な研究分野において、次世代の研究界を担う学生や若手研究者に対して分野横断的な研究討論・人的交流の機会を提供するよって、それぞれが将来的に独創的な研究を推進していく為の基礎となるモチベーションやインスピレーションを育む場としたいと考えています。

- 日時:2009年10月10日(土) 12:30 ～ 11日(日) 13:00
- 場所:熱海研修センター (静岡県熱海市伊豆山 1065-1 TEL: 03-5614-5917)
[電車] JR 東海道線・JR 新幹線「熱海駅」下車 タクシー(熱海駅より)約 10 分
詳細は、熱海研修センター ホームページ(<http://tkpatami.net/>)を参照のこと。
- 参加費: スタッフ 10,000 円 学生・博士研究員 無料
- 宿泊費 (夕食・朝食を含む): スタッフ 16,000 円 学生・博士研究員 9,000 円
※支払いは当日現金に限らせて頂きます。
- 参加登録: 氏名、所属、身分(学生・博士研究員は研究室名)、メールアドレス、講演希望の有無、講演タイトル、口頭/ポスターの希望を添えて、下記連絡先まで電子メールにて申込みをお願いします。ただし、学生・博士研究員の方はポスター発表必須です。 プログラムの都合上、口頭/ポスター発表の希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。
- 申込締切 :2009年8月31日(月)
- 連絡先:
フューチャー・フェロエレクトリックス ～第1回 誘電体若手秋の学校～ 事務局
東京工業大学応用セラミクス研究所 伊藤・谷山研究室 谷口博基
e-mail: taniguchi.h.aa@m.titech.ac.jp

《校長》

八木駿郎 (北海道大学・名誉教授)

《世話人》

谷口博基 (東工大応セラ研・助教)、狩野旬 (筑波大学・助教)、森茂生 (大阪府立大学・教授)

《advisory committee》

上江洲由晃 (早稲田大学・教授)、高重正明 (いわき明星大学・教授)、野田幸男 (東北大学・教授)

小島誠治 (筑波大学・教授)、伊藤満 (東京工業大学・教授)

プログラム

【2009年10月10日(土)】

11:30 – 受付

12:30 –	オープニング	校長・事務局
13:00 – 13:50	中性子とX線で見る誘電体のダイナミクス	廣田和馬 (大阪大学)
13:50 – 14:40	極性な電荷秩序による誘電体 RFe_2O_4 の紹介	池田 直 (岡山大学)
	休憩 (20分)	
15:00 – 15:50	物質の状態を光で見る	勝藤拓郎 (早稲田大学)
15:50 – 16:40	Bi系ペロブスカイト型強誘電体の 欠陥制御と強誘電特性	野口祐二 (東京大学)
	休憩 (20分)	
17:00 – 18:30	ポスターセッション	

19:30 – 夕食 [食堂]

20:30 – 23:00 研究討論会 [談話室]

【2009年10月11日(日)】

08:00 – 朝食 [食堂]

09:00 – 09:20	オーラルセッション①	
09:20 – 09:40	オーラルセッション②	
09:40 – 10:00	オーラルセッション③	
10:00 – 10:20	オーラルセッション④	
10:20 – 10:40	オーラルセッション⑤	
	休憩 (20分)	
11:00 – 11:50	誘電体の電子論	石原純夫 (東北大学)
11:50 – 12:40	振動数と時間のドメインで見る相転移ダイナミクス	校長・八木駿郎 (北海道大学)
12:45 – 13:00	クロージング	